

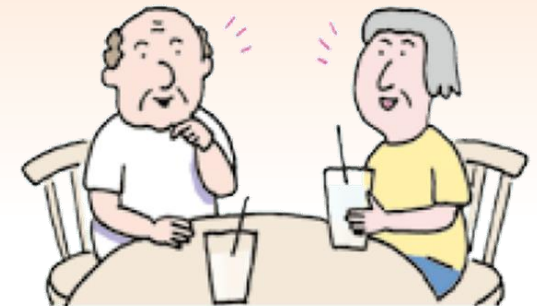
地域における/
熱中症対策の先進的な
取組事例

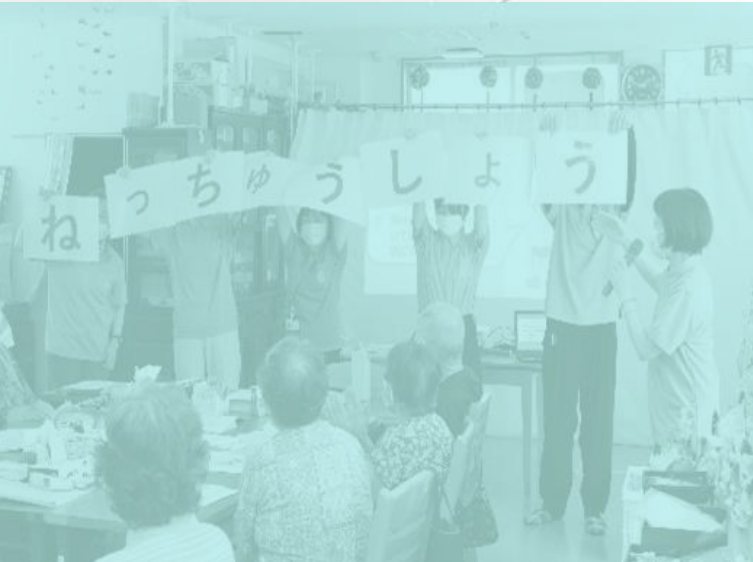


気候変動による過酷な暑さから
健康を守るために熱中症対策を進めましょう

ねらい・目標

- この4月に異動してきたばかりで、熱中症予防や対策について具体的にどのようなことをすればよいのかを知りたい。
 - 予算も人員も限りがあるなかで、他の地方公共団体がどのような施策を講じているのか、そのメリット、デメリットなどについても知りたい。
 - 現在の取組について棚卸をして、新しい取組へのアイデアを得たい。
- ※ あくまで各地で実際に行われている取組事例をご紹介するものであって「こうするべき」「こうあるべき」という推奨でも提案でもありません。





CHAPTER



普及啓発、広報

要配慮者への見守り・声かけ

行動変容のためのインセンティブ

クーリングシェルターと涼み処

都市環境・施設整備による対策

庁内連携

情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

- 熱中症に関する**普及啓発、広報**については、紙媒体、電子媒体や動画などといったツールの他、既存メディアの活用などさまざまなものがある。

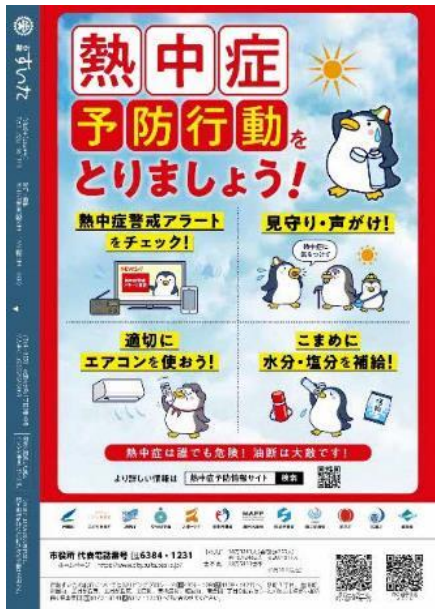
メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・ 手段・媒体によってはコストを抑えることができる。・ 広範囲に、均質な情報を展開することができる。・ 即効性がある(暑い日にすぐ対応できる)。	<ul style="list-style-type: none">・ 実際の行動変容にまでつながらない場合がある。・ 高齢者、外国人などの“情報弱者”には届きにくいケースがある(届きにくい層がある)。 →インターネット等からの情報が得にくく熱中症リスクを認知しづらい独居や高齢者のみの世帯に対しては、テレビ、ラジオの他、新聞、回覧板や自治会・町内会の掲示板といった紙媒体からの情報がむしろ『届く』可能性を高めることがある。・ 注意喚起疲れ(慣れ)による効果低減。

- 伝えたい対象者・伝えたい内容によって、また予算によって、以降の[例]から選択したり、組み合わせたりする必要がある。

情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

[例]

- 自治体広報紙(誌)
- 回覧板、掲示板 自治会・町内会等の数、活動状況は？



▲広報紙(誌)[例]



▲地元情報紙(誌)[例]

熱中症を防ごう

☎773・6811

急に暑くなる初夏は、体が慣れていないため、熱中症に注意が必要です。マスクを着用する機会が多く、熱中症のリスクが高まるといわれています。

熱中症は、気温や湿度が高い環境下にいることで体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温調節ができなくなり発症します。めまい、頭痛やだるさなどの症状のほか、けいれんや意識の異常などがおこることもあります。

運動などをしていなくても、体からは1日約2.5リットルの水分が失われます。室内でも熱中症になることがあります。高齢者や乳幼児、病気がかかっている人は注意が必要です。体調不良のときも

注意しましょう。

予防のポイント

- ・ エアコンや扇風機、すだれなどを上手に使う
- ・ こまめに水分と適度な塩分をとる
- ・ 屋外では気温に注意し、体を締め付けない涼しい服装で、帽子や日傘を利用する
- ・ 作業中や外出時は適度に休憩を取り無理をしない
- ・ 日ごろからバランスの取れた食事を1日3回とる。特に朝食は抜かない
- ・ 早めの就寝を心がけ、寝不足にならないようにする
- ・ 暑い時期になる前に適度に運動し、体力をつけておく
- ・ 屋外で、人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合はマスクをはずす

熱中症が疑われたら

- ・ 涼しく安全な場所に移動させ、衣服を緩めて寝かせる
- ・ エアコンや扇風機などで風を当て、体を冷やす
- ・ 脇の下、太ももの付け根などを冷やし、可能であれば水分を少しずつ取らせる
- ・ 意識がはっきりしない、自力で水分を飲めない場合は、すぐに救急車を呼ぶ



▲掲示板[例]



情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

[例]

- チラシ 総務省消防庁、厚生労働省、農林水産省、環境省等のホームページからダウンロードして活用
- ポスター
- パンフレット、リーフレット
- 地元情報紙(誌)、フリーペーパー 発行部数は？配架場所は？発行エリアは？読者層は？
- 新聞 発行部数、発行エリアは？

チラシ・ポスター等のリンク

総務省消防庁：熱中症情報 > 予防啓発

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>

厚生労働省：熱中症予防のための情報・資料サイト > 普及啓発資料 リーフレット等

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pamph.html

農林水産省：熱中症対策 > 熱中症対策パンフレット & 熱中症対策関連情報集

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

環境省：熱中症予防情報サイト 普及啓発資料 > 普及啓発資料のダウンロード

https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_pr.php

ERCA：ERCA機構ホーム > 熱中症対策業務ホーム > 普及啓発資料ダウンロード

<https://www.erca.go.jp/heatstroke/about/download.html>

情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

[例]

- 防災無線 何らかの運用基準([例] 熱中症警戒アラート発表、気温〇℃ 等)
- 音声告知端末/戸別受信機
- 広報車(パトカー、消防車、救急車、青色防犯パトロール車両、ごみ収集車など)



▲防災無線 拡声器[例]



▲音声告知端末[例]

ケーブルテレビやインターネット回線を利用し、行政からのお知らせ(募集・案内、交通情報、防犯情報、当番医など)を放送することができる。

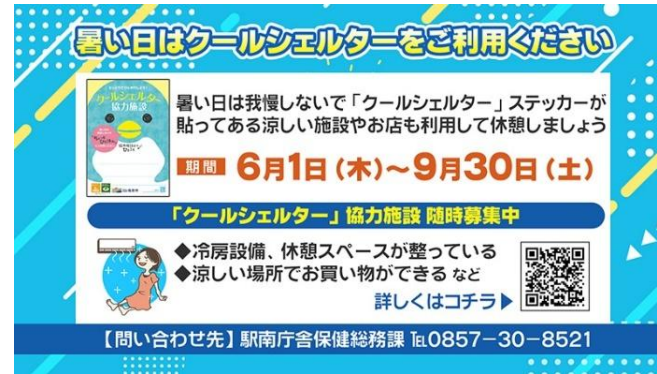


▲ごみ収集車側面のマグネットポスター[例]

情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

[例]

- ラジオ/コミュニティラジオ
- テレビ/ケーブルテレビ
特に地元で活躍する著名人からのメッセージ
[例] タレント、アナウンサー、気象予報士、ラジオのパーソナリティなど



▲テレビ/ケーブルテレビの文字放送[例]

- 大型ビジョン
- web(ホームページ、SNSなど)
- 動画 どこで有効活用できそうか?
集団検診やイベント前後の『待つ』時間の活用
- メール
- デジタルサイネージ、モニター
 - 公共交通機関(鉄道、バス、タクシーなど)
 - スーパーマーケット、コンビニエンスストア
アプリ登録者向けのバナー表示
POP
 - 自動販売機



▲まちなかの大型ビジョン[例]



▲自動販売機のデジタルサイネージ[例]

情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体



▲垂れ幕
八木橋百貨店【熊谷市】



垂れ幕▶
熊谷市役所



情報提供や注意喚起を促すための手段・媒体

[例]

● 健康づくり(ウォーキング)アプリ

健康づくり(ウォーキング)に取り組みながら、クーリングシェルターに行き、二次元コードを読み込むとポイントがつく仕組み。

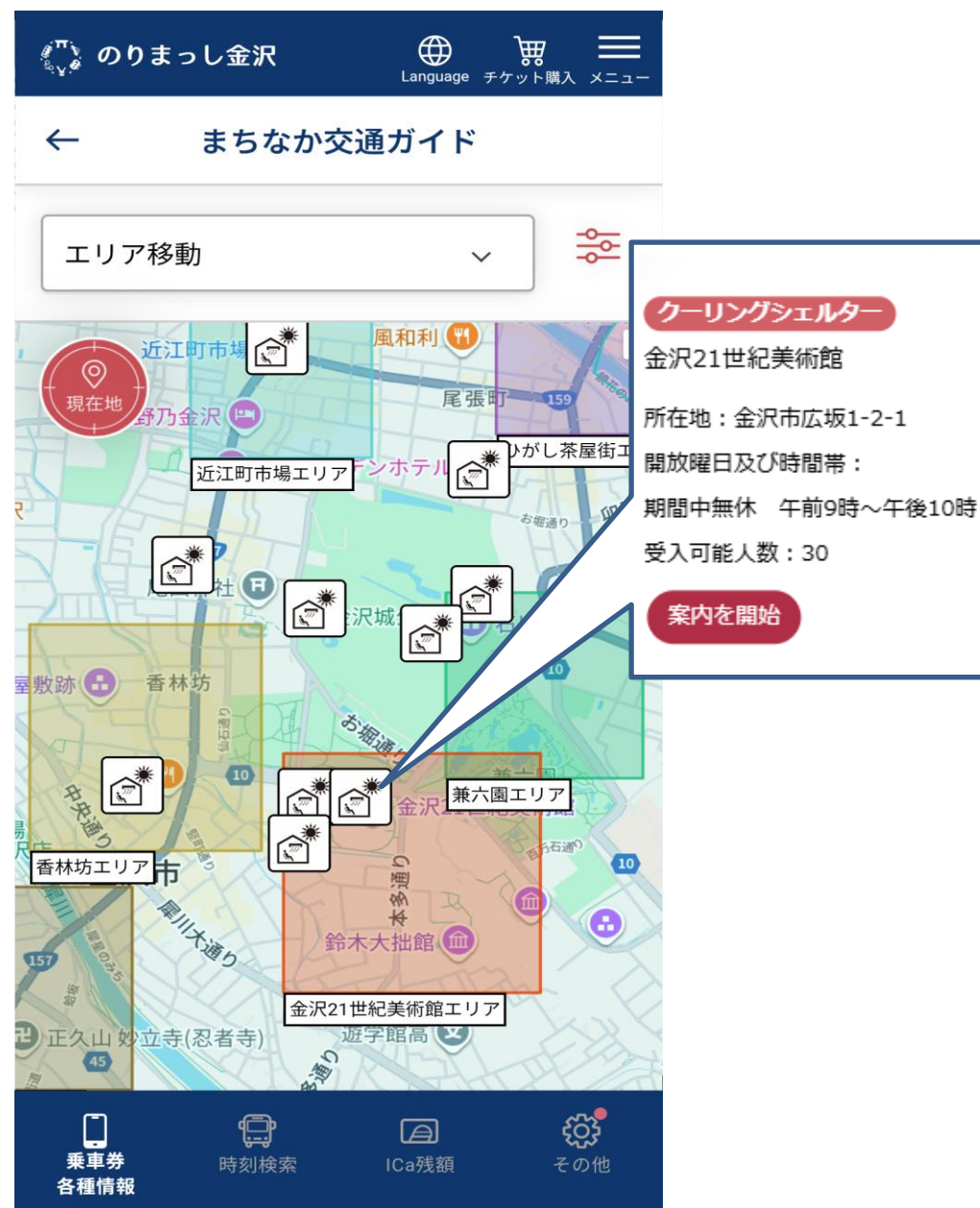
<その他の機能[例]>

- 歩数表示
- 歩行距離
- 消費カロリー表示
- 健康記録(体重、血圧など)
- 健康器具・健康遊具が設置されている公園の情報
- 水飲み場に関する情報
- 気温やWBGTなど、熱中症予防に関する情報
- クーリングシェルターの地図情報 など

● デジタル交通サービス

“1日乗り放題”といったデジタルチケットの他、電車・バスなどの時刻表、駅、バス停、シェアサイクルのポート、観光案内所やお手洗いの案内も。

夏季はクーリングシェルターの位置や利用時間なども掲載。



▲デジタル交通サービス([例]「のりまっし金沢」)

情報提供や注意喚起を促すためのタイミング

- 熱中症の予防行動・対策を促すタイミングとして以下のようなものがある。

4～6月頃：暑熱順化やエアコンの早期点検等の呼びかけ

暑くなるまでに…

- ・ 庁内外との連携、連絡体制の再確認・再構築
熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートが発表されたときに備えた体制準備
- ・ 広報紙(誌)面の検討
- ・ チラシ、ポスター等のデザイン確定
- ・ 町内会、自治会等への展開準備

- (一社)日本冷凍空調工業会では、4月10日を『エアコン試運転の日』に制定し、夏までにエアコンの試運転と確認を行うことを推奨している。

7月頃：梅雨明けに特に熱中症のリスクが高いことを国民へ注意喚起

- 高齢者、こども等の熱中症要配慮者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- イベント開催時の普及啓発
- 大型ビジョン、テレビ、ラジオ等での放映
- 主要施設へのパンフレット、リーフレット、広報紙(誌)、チラシ等の配架
- 広報車等の展開



情報提供や注意喚起を促すためのタイミング

8 月 頃 : 盛夏における熱中症対策の一層の呼びかけ

- 高齢者、こども等の熱中症要配慮者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- 「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」を参考に
した対策の検討・実施
(https://www.wbgt.env.go.jp/sp/heatillness_gline.php)

[例]

- ・ 大規模な路上、公園等でのイベント、夏祭り・盆踊り
- ・ 音楽イベント
- ・ 花火大会
- ・ マラソン大会
- ・ 大規模広域スポーツイベント
- ・ 野外団体活動

6 月 ~ 9 月 : 災害時における熱中症の注意喚起

- インフラ障害、物資の不足
停電、断水
- 避難時の生活環境
避難所、車中避難、在宅避難、不衛生な環境
- 慣れない重労働
復旧作業



秋田県 県内新聞3紙での普及啓発

- インターネット等の情報が得にくく、熱中症リスクを認知しづらい独居や高齢者のみの世帯をターゲットに新聞広告を活用してアプローチ
- 掲載日を統一し、**県内シェアの大半を占める地元新聞3紙**(秋田魁新聞、北鹿新聞、北羽新報)に掲載 **合計約23万部を発行(県内世帯数約38万世帯)**
- 5段全幅広告(縦:約17cm、横:約38cm)で予防行動のポイント等を周知
- **全戸配布する県広報紙**にも熱中症予防のページを設け、**紙媒体を活用した普及啓発**を実施

熱中症にご注意を!

油断大敵!
県内で熱中症救急搬送の
6割以上が高齢者*

室内でもご用心!
適切に**エアコン**を使いましょう

県内の熱中症の発生場所は
4割以上が住居内*

エアコンが使用できない時は
濡れたタオル等で体を冷やしたり
涼しい場所に避難しましょう

*総務省消防庁/熱中症による救急搬送状況(令和6年)

のどが渴いていなくても
こまめに**水分+塩分**を補給しましょう

カiteki~

エアコン使用中も
こまめに換気を

扇風機や換気扇
を併用する

1日あたり
1.2ℓ(12)を
目安に

コップ約6杯

- 1時間ごとにコップ1杯が目安です
- 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を

**水分と塩分を一度に補給できる
イオン飲料もおすすめです**

*心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの場合、
水分や塩分の摂取量はかかりつけ医の指示に従いましょう

家族や周囲の方へ

見守りや
声かけを
お願いします

熱中症が疑われる人を見かけたら…

- ✓ 涼しい場所へ
- ✓ からだを冷やす
- ✓ 水分補給

熱中症警戒アラートなど
ココからチェック!

**熱中症予防啓発
キャンペーン開催**

アンケートやクイズに答えて
熱中症対策グッズが当たる
ガラポン抽選会など実施します!

ぜひ
お立ち寄り
ください!

会場

マックスバリュ十文字南店…7月 6日 10:00~14:00
イオンスタイル広面……………7月12日 10:00~14:00
ザ・ビッグたかのす店……………7月15日 10:00~14:00

お問い合わせ

秋田県生活環境部温暖化対策課
TEL.018-860-1573

秋田県公式ウェブサイト
英の国あきたネット
**熱中症関連情報
について**



岐阜県多治見市 ケーブルテレビ・コミュニティラジオの活用

- インターネットサイト閲覧に結びつきにくい高齢者にも情報を届けるべく、地域の**ケーブルテレビ**及び**コミュニティラジオ**と連携、熱中症対策に取り組む店舗を訪問する番組等を制作し夏季に放送

▼ケーブルテレビ① 高校生の暑さ対策(放送日:8/6~12)



▼ケーブルテレビ② まちなかの暑さ対策(放送日:8/13~19)



▼ケーブルテレビ③ みんなの暑さ対策(放送日:8/27, 28, 9/10)



▼コミュニティラジオ

- ・ 7月中旬以降、毎週木曜日12:40~12:50
- ・ イベント告知、ケーブルテレビ参加者を招いた取組紹介など、高校生を招いて番組を制作している様子



青森県 YouTubeバンパー広告・Instagram広告等を活用した普及啓発

- 県内の**高齢者の親がいる世代(30~50代)**を対象を絞りweb広告を実施
8/8~9/30までの期間で、**YouTubeバンパー広告**は **520,577回**表示、**Instagram広告**は **192,789回**表示(**リーチ数 : 54,962回**)
- 他にも、普及啓発チラシ10,000部の配布、熱中症対策動画のHP公開、テレビCM、県広報誌、県ラジオ枠、県公式LINEや新聞広告など多方面からの**強力な普及啓発**を実施



▲YouTubeバンパー広告(6秒でスキップ不可の広告)

- ・バンパー広告の課金方式は原則としてCPM(表示回数ごとに課金)
YouTubeが提供している他の広告ではスキップ可能な数十秒~数分の広告、スキップ不可な数十秒の広告などがある。



▲Instagram広告(静止画)

- ・モバイルでの閲覧が中心の広告であるため、**屋外でも短くわかりやすい視覚メッセージを伝えることができる**。農業従事者など屋外で活動するひとや、その家族にとって有効な対策であると考えられる。
- ・静止画の広告は動画広告に比べ、**低予算・短期間で制作可能**である。



CHAPTER

2

普及啓発、情報提供、広報



要配慮者への見守り・声かけ

行動変容のためのインセンティブ

クーリングシェルターと涼み処

都市環境・施設整備による対策

庁内連携

要配慮者への見守り・声かけ

- 要配慮者とされる高齢者等に対する見守り・声かけには下記のような特徴がある。

メリット

- ・ 熱中症による死亡や救急搬送の多くを占める層へ直接アプローチできる。
- ・ 個別対応が可能で効果が高い。
- ・ 孤立・孤独対策や防犯など、熱中症対策だけでない副次的効果も大きい。

デメリット

- ・ 人手がかかるため、運用コストが大きい。
- ・ プライバシー配慮が必要。
- ・ それでもカバーしきれない対象者が出る。

東京都豊島区 見守り支援事業担当職員による、独居高齢者訪問と高齢者実態調査

- **民生委員・児童委員**や高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当職員が、原則75歳以上の一人暮らし高齢者(約6,500世帯(※1))を対象として訪問し、熱中症対策のリーフレットやグッズ(保冷ボトルカバー)などを配付した。
- 生活状況や健康状態などを調査する**高齢者実態調査**(※2)に併せて実施
その回答をもとに、必要に応じて高齢者総合相談センター職員による各種サービスの提供、民生委員・児童委員による地域での見守り活動等につなげていく。



▲配付物一式(※3)



▲高齢者実態調査一式(※3)

(※1) 75歳以上で一人暮らしではない方でも、高齢者総合相談センターが熱中症予防の啓発等で訪問する必要があると判断した方については訪問を行う。
また、介護保険サービス利用者や特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどへの入所者等は訪問対象外となる。

(※2) 3年に1度実施

(※3) 画像は令和6年度配布物

豊島区「熱中症から一人暮らし高齢者を守れ！民生委員・児童委員等による熱中症予防訪問を実施しています」(令和6年5月報道発表)
<https://www.city.toshima.lg.jp/013/kuse/koho/hodo/r0506/2405271543.html>

■工夫した点

- ・訪問ではエアコン・扇風機等の適切な使い方、栄養管理や水分の取り方、室内や夜間における注意事項などを説明する。
加えて、日ごろの困りごとなどを聴きとり、孤独になりがちな一人暮らしの高齢者に、必要に応じて各種サービスの利用を呼びかけている。



暑さを確認!

危険な暑さ
我慢しちゃダメ
絶対!



☑ 温度計で部屋の温度を確認!

室温が **28°C** 以上の場合
エアコン等を使用しましょう



温度計



☑ 天気予報で気温を確認!

30°C 以上で熱中症リスクが急増↑
気温が **2°C** 上がるごとに、
救急搬送者数が倍増します↑



これを
実践!



エアコン



水分



日傘



日陰

実践

これを実践!

暑い夏を乗り切ろう!!



熱中症による屋内の死亡者
数の約9割がエアコンを
使っていませんでした。

ちょこ涼は、散歩時などにちょ
こっと涼むことができる場所です。
お気軽にご利用ください。



明日誰かに伝えたい 熱中症予防 豆知識

日傘・帽子の使用で
頭部で **8°C** の差が



薄い色の服で涼しく



熱中症による
救急搬送状況は、

- ・男性は女性の約2倍
- ・約4割が屋内
- ・約半数が65歳以上



神奈川県川崎市 温度計付きチラシの使い方ガイド

- 市民と関わりがある各区の部局、民生委員・児童委員や地域包括支援センター職員に、**温度計付きチラシ**とその「**使い方ガイド**」を併せて渡し、チラシのポイントを押さえたうえで高齢者を中心に配布していただく。
- 配布方法は手渡しを推奨。高齢者世帯を訪問する際に、**声かけツール**として有効との感想をいただく。

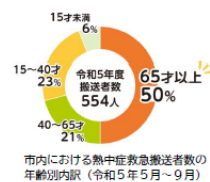
表面

令和7年度 温度計付きチラシについて

1. チラシの目的

熱中症による救急搬送者数の約半数は高齢者となっています。そのため、搬送者数を減らすためには、高齢者への啓発が重要です。高齢者は、暑さを感じにくい・体内の水分量が少ないという特有の要因により熱中症になりやすいと言われています。御自身の熱中症リスクが高い状態にあることに気づいていない高齢者に対しては、周囲の方や地域における声掛けにより「気づきを促す」ことが重要となります。

本チラシは、地域の皆さまが高齢者へ熱中症予防の声掛けをしていただく際に役立つツールとして作成しました。



2. チラシ配布の対象者

高齢者

理由:

- ・暑さを感じにくく、熱中症を他人事ととらえがちで行動変容に結びつきにくい
- ・スマートフォン等を使用しておらず、インターネットで暑さ情報を取得するのが苦手

3. チラシ配布に協力していただきたい方

- ・高齢者と接する業務を行っている区職員
- ・民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域で高齢者福祉に携わっている方

4. チラシの渡し方

高齢者が集まる場や高齢者宅訪問時等に、「温度計付きのチラシであること」「いつも温度を意識して熱中症対策を行ってほしいこと」の2点を説明の上、手渡ししていただくことを想定しています。(渡し方はこのとおりでなくても構いません。)

※チラシの見方、ポイントなどは裏面を参考にしてください。

(問合せ先)
環境局環境総合研究所
電話：044-776-9064
FAX：
Mail：

裏面

チラシのポイント

- 1 表面ではインターネットを使わずに、暑さ情報を取得する方法を紹介しています。
- 2 室内で1日過ごす場合、液晶温度計で室温を確認！
チラシを壁などに貼って、温度が常に目に入るようにしていただくことで、行動変容につながりやすくなります。
度を確認！
見える数字が現在の室温です。
※直射日光が当たると、熱を吸収し、正確な温度が計測できなくなることがあります。
- 3 外出する場合、テレビや新聞の天気予報で気温を確認！
- 4 熱中症対策のポイントは、脱水症状にならない・体温の上昇を抑える
- 5 屋内でも・屋外でも脱水症状にならないために水分補給
- 6 屋内で体温の上昇を抑えるためにエアコン等を適切に利用(適切利用=表面)
- 7 屋外で体温の上昇を抑えるために日傘・帽子を使用、こまめな休憩
外出中のこまめな休憩に利用できる「ちょこ涼」の一覧は市HPページよりダウンロードできます。
一覧を印刷して、チラシと併せて渡していただくことで、より効果的な啓発につながります。
- 8 環境総合研究所で実施した熱中症対策につながる調査結果です。

■ 苦労した点

- ・液晶温度計をチラシに貼り付けて印刷してくれる業者が限られている。
- ・コストが高い(1枚あたり約50円)ので、捨てられないものになるように考えた。一方で液晶の経年劣化には注意が必要で「高齢者にとって意識づけを行うためのはじめの第一歩である」という位置づけが望ましい。

■ 工夫した点

- ・訪問の際に室内がかなり暑いと感じることもあり、温度計付きチラシを使用する事で可視化できるので、暑さを個人の感覚によらず示せる。
- ・暑さを知る方法が分かりやすく記載されていて、スマホが苦手な人にも親切。

鳥取県鳥取市 保健所と民生委員・児童委員による、温湿度計・アンケート票・チラシの配布

- 保健所が主体となり、地区の民生委員の協力のもと75歳以上の独居高齢者に対して温湿度計、アンケート票及びチラシを配付し、日々の温度・湿度・暑さの感じ方をチェックしてもらうことで熱中症リスクを認識してもらうとともに、リスクを低減する行動変容を促す。
- 民生委員・児童委員と保健所とで課題共有、連携強化を図る。
- アンケート分析結果を協力者へフィードバック、施策への反映を目指す。

熱中症対策のアンケート調査

あなたの基本情報を記入してください。

年齢 () 歳 性別 (男 ・ 女)

普段、熱中症対策として気を付けていることはどんなことですか？
(当てはまるもの全てに○をしてください。)

- こまめに水分をとる
- エアコン・扇風機を上手に使用する
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 暑い時は無理をしない
- 涼しい服を着る
- 部屋の風通しを良くする
- 緊急時や困った時の連絡先を確認している
- 涼しい場所や施設(図書館など)を利用する
- その他 ()

1日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

室内温度28℃を心がけましょう。

2日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

のどが潤いていなくても、こまめに水分を取りましょう。

3日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

人と合わないときは、マスクをはずして過ごしましょう。

4日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

天気の良い日は帽子をかぶりましょう。

5日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

テレビやラジオで暑さの情報を確認して熱中症に備えましょう。

6日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

水分だけでなく、塩分補給も大切です。

7日目 ____月 ____日 (____曜日) 記入時間 (____時 ____分)

今の部屋の温度・湿度を書いてください。

温度 度 湿度 %

Q1. 今の室内の環境をどう感じていますか？

暑い やや暑い ちょうど良い やや寒い 寒い

Q2. 今日の体調はいかがですか？

とても良い 良い 悪い とても悪い

丈夫な体をつくって熱中症を予防しましょう。

鳥取県鳥取市 「訪問の際の取組手順書」

表面

訪問の際の取組手順書



同封チラシ

1. 各家庭を訪問時に説明していただく内容

(1) 熱中症の注意喚起と予防法の紹介

- ① 高齢者の熱中症搬送者数が多い現状とその理由を伝えていただきます。
(チラシ「熱中症～思い当たることはありませんか?～」使用)
- ② 主な熱中症の予防対策について、チラシを参考にしながら各高齢者の方々に合った予防法を伝えていただきます。
(例: エアコンが設置されていなければ冷たいタオルで体を冷やすなど)

(2) 本取組の説明及びご協力いただけるかの確認

いくつかの予防法の中の「部屋の室温を測る」ことを実践してもらいます。部屋の温度と湿度を測ることで、ご自身の体感の温度と室内の状況との差異を知っていただいたり、室内を適切な温度と湿度にするために、予防法を実践していただき、熱中症の発症を未然に防ぐことを目的としています。本アンケートは強制ではありません。7日間の室温計の確認とアンケート票の記入にご協力いただける方のみ(3)以降の説明をお願いします。

(3) アンケート票(アンケート票・室温計を使用)

- ① アンケート票の1枚目「基本情報」を記入していただきます。
(お1人で記入することが難しそうな時は一緒に記入をお願いします。)
- ② アンケート票の記入のしかたを説明していただきます。
 - ・1日1回温度と湿度を測って記入する
(訪問時に1日目の記入を一緒に行っていただいてもよいです。)
 - ・その時ご自身が暑いと感じているか等の質問を記入する
- ③ 記入された温度と湿度を再度確認し、「暑い」と実感されたら、適宜予防対策を行っていただきます。
- ④ 7日間同じアンケートを行っていただき、終了後はアンケート票の後ろについている質問票に答えていただきます。
(アンケート回収時に一緒に記入していただいてもよいです。)

(4) アンケート票の回収

後日再度訪問していただき、アンケート票のみを回収していただきます。
(可能であれば、アンケート前後の基本情報と質問欄が記入されているかご確認をお願いします。)
室温計はプレゼントになりますので、今後も熱中症の予防のためにご使用ください。

裏面

2. 室温計の見方について

熱中症対策の目安	
室温:	28℃
湿度:	40%~60%



人によっては

- 「外に居なければ暑さをしのげる」
- 「暑いけれど我慢すればいい」
- 「湿度も湿度も高いけれど暑いと思わない」

と感じることがあるかもしれませんが、熱中症の主な原因となる「高温多湿」には注意が必要です。

顔の表示の見方

	【危険】 高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
	【厳重警戒】 外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
	【警戒】 運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
	【注意】 一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※表面の保護シールと電池についている絶縁テープを取ってからお使いください。



日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022)より改編



■工夫した点

- ・高齢者の熱中症搬送者数が多く、その大半が住宅内での発症であるという現状とその理由及び室内における熱中症の予防対策法などを説明。
- ・「アンケートが面倒」「年を取って字が書けない」「目が悪い」といった方にも、民生委員・児童委員による代筆や、何度も説得をしていただいたことで、多くの高齢者の熱中症予防に繋がった、と考えている。

福岡県北九州市 熱中症対策普及啓発協力団体

- 北九州市では、令和6年度から市民の身近な場所で熱中症対策に取り組む法人または団体を「**熱中症対策普及啓発協力団体**」として募集・登録する仕組みを整備。現在39団体が登録(令和7年6月30日時点)。



北九州市

熱中症対策 普及啓発協力団体

登録にご協力ください！

気候変動の影響により熱中症の健康被害が増加しています。
このたび、北九州市では、「北九州市熱中症対策普及啓発協力団体」として登録いただき、市民の身近な場所で熱中症対策を市と推進していただける企業・団体の皆様を募集しています。

対象：北九州市内で活動する法人または団体

①店舗でのPOP掲示
②集会での啓発
③訪問時の声掛け

日常の活動の中で
熱中症になりやすい方への見守りや
声掛けの協力をしてくださる方

登録はこちらのサイトから（北九州市役所ホームページ）
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/90000700.html>

この事業に関するお問い合わせ
北九州市保健福祉局健康推進課 Tel.093-582-2018

熱中症対策普及啓発協力団体
(令和7年6月30日時点)

- ・公益社団法人北九州市医師会
- ・公益社団法人北九州市歯科医師会
- ・公益社団法人北九州市薬剤師会
- ・第一生命保険株式会社 北九州総合支社
- ・株式会社サンキュードラッグ
- ・北九州市健康づくり推進員の会
- ・一般社団法人北九州市老人クラブ連合会
- ・公益社団法人北九州市シルバー人材センター
- ・トップフィールド株式会社
チョッパー訪問看護ステーション小倉南
- ・特別養護老人ホーム ライフポート若松
- ・リハビリ特化型デイ ムーブメントプロ小倉南
- ・社会福祉法人 恩賜財団済生会
介護老人保健施設済生会くれたけ荘
- ・有限会社福祉の里・出会い
- ・NPO法人福祉事業大輪の花
- ・きたふくヘルパーセンター小倉南
- ・社会福祉法人すみれ会 カレッジ北九州
- ・有限会社 わいど保険
- ・OZデイやはたLEO
- ・こどもサポート教室「きらり」小倉南校
- ・こどもサポート教室「きらり」小倉北校
- ・株式会社クラ・ゼミ こどもサポート教室「きらり」小倉到津校
- ・合同会社アライブ
- ・株式会社タスク
- ・新九協同株式会社
- ・優和園
- ・社会福祉法人年長者の里
- ・社会福祉法人北九州市社会福祉協議会
- ・公益財団法人健和会
- ・北九州健康友の会
- ・九州電力送配電株式会社 北九州支社
- ・北九州市食生活改善推進員協議会
- ・北九州市民生委員児童委員協議会
- ・門司港調剤薬局
- ・イオンモール八幡東
- ・大塚製薬株式会社 北九州出張所
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・社会福祉法人すみれ会 カレッジ北九州折尾キャンパス
- ・社会福祉法人小倉新栄会 新栄会病院

※公表の許可が得られた法人・団体のみ

■苦勞した点

- ・北九州市の高齢化率は全国と比べて高いため、特に熱中症リスクの高い高齢者を地域全体で支えられるよう広く協力団体を募り、連携できるような仕組みづくりに苦勞した。

■工夫した点

- ・登録制度を広く周知するために市の環境マスコットキャラクターを活用したロゴを作成し、親しみやすさと認知度の向上を図った。また、熱中症予防は身近な人からの声かけが効果的であることから「声かけポイント」のチラシを作成し、協力団体が日頃の活動の中で活かせるようにした。



CHAPTER

3

普及啓発、広報

要配慮者への見守り・声かけ



行動変容のためのインセンティブ

クーリングシェルターと涼み処

都市環境・施設整備による対策

庁内連携

行動変容のためのインセンティブ

- 熱中症の予防行動・対策を促すためのインセンティブとして、普及啓発、予防・対策グッズの配布(配付)やエアコン購入費用・電気代の補助などの方法がある。

普及啓発、予防・対策グッズの配布(配付)

メリット

- ・直感的でわかりやすい。
- ・頻繁に目にすることにより“刷り込み”が期待でき、行動変容・定着につながる。
- ・イベントやキャンペーンと組み合わせやすい。
- ・経済的なメリットを利用者が感じ、チラシ等よりも受け取ってもらえる可能性が高い。

デメリット

- ・単なるノベルティと化す(もらっただけで終わる)可能性がある。
- ・効果測定が難しい。配布(配付)した数量 = “予防や対策の効果”ではないため、実際に熱中症による死亡者数や救急搬送者数が減ったといった因果関係を示しにくい。
- ・使用されずに廃棄されると「エコではない」や「無駄」といった批判を受けやすい。

行動変容のためのインセンティブ

- 熱中症の予防行動・対策を促すためのインセンティブとして、普及啓発、予防・対策グッズの配布(配付)やエアコン購入費用・電気代の補助などの方法がある。

エアコン購入費用・電気代の補助

メリット

- ・ 熱中症要配慮者層に直接アプローチできる。熱中症の多くが自宅内で発生しているため、冷房使用を直接後押しできる効果は大きい。

デメリット

- ・ まとまった額の財源確保が必要となる。
- ・ 公平性の問題など、制度設計上検討しなければならない点が多い。
- ・ 申請、審査、振込といった手続きに行政コストがかかる(高齢者が申請できず、本来必要な要配慮者層に施策が届かないおそれがある)。
- ・ 住宅の状況などでエアコンが設置できない場合、補助を受けられない層がでてくる。
- ・ 電気代の補助は夏季を通して必要になるため、継続すると予算規模が大きく膨らむ。
- ・ エネルギー価格変動の影響を受けやすい。
- ・ 過剰使用やピーク増大のおそれがある。
- ・ 補助しても使われない/適切に使用されないケースがある。

熱中症の予防・対策に役立つグッズの配布(配付)

- 熱中症の予防・対策に役立つグッズには以下のような例がある。
グッズの配布(配付)にあたっては、その効果を上げるため、**ただ配るだけにせず言葉による啓発とあわせて行うとよい。**

[例]

- 飲料水
- 経口補水液

- ネッククーラー
- クールスカーフ
- クールタオル
- ランドセル背当てパッド

- 帽子
- 日傘
- 日除け・遮光ネット

- ウェットティッシュ
- ポケットティッシュ



▲クールタオル専用ケース
ランドセルにクールタオル専用ケースを取りつけた。水に濡らして首に巻き、児童の体温を冷まし、登下校中の熱中症の発生を予防した。
【焼津市】



▲ランドセル背当てパッド
登校時は自宅で冷却した保冷剤を装着し、下校時は各教室に1台(高学年は学年に1台)設置された冷凍庫で授業中に冷却した保冷剤を装着する。【焼津市】

熱中症の予防・対策に役立つグッズの配布(配付)

[例]

● うちわ



■メリット

- ・ イベントでの使用を含め、「夏」との相性がよい。暑い時期に自然と使われるものなので、手に取ってもらいやすく、使われやすい。
- ・ 面積が広い=情報量を多くできる。
- ・ 単価が比較的安く、紙製、プラスチック製ともに大量生産向き。
- ・ しっかりしたものをつくれば、長く使ってもらえる。
- ・ チラシのように、他と紛れてしまわない。

■デメリット

- ・ 季節性が強い。
- ・ 目新しさには欠ける。
- ・ 情報量が多すぎると読まれない。
- ・ 持ち運びにかさばることがある。
- ・ 紙製の場合、特に屋外での使用時には汗や雨で強度が落ちたり、破損することがある。
- ・ 興味がないひとにはすぐ捨てられることも。

熱中症の予防・対策に役立つグッズの配布(配付)

[例]

● クリアファイル



【大田区】



【愛知県】

■ メリット

- 面積が広い=情報量を多くできる。
- 単価が比較的安く、紙製、プラスチック製ともに大量生産向き。
- しっかりしたものをつくれば、長く使ってもらえる。
- チラシのように、他と紛れてしまわない。
チラシも入れることができる
- 実用的であり、日常的につかってもらえる(目に触れる機会が多い)。

■ デメリット

- 書類整理の習慣が少ないひと(幼児・高齢者・デジタル中心の若者)にはそもそも使わない可能性がある。
- 目新しさには欠ける。
- 情報量が多すぎると読まれない。
- 持ち運びにかさばることがある。

熱中症の予防・対策に役立つグッズの配布(配付)

[例]

● マグネット



【福島県】



【札幌市】

よくある内容

● 水分補給の目安

例:1日8回/1時間に1回を意識

● 室温・湿度の基準

例:28℃、湿度50~60%など

● 危険な状態のチェックリスト

● 高齢者への声かけポイント

● 救急相談窓口

例:#7119 など

👉 一瞬で理解できるデザインがポイント。

■ メリット

- ・冷蔵庫・玄関ドア・ロッカーなど、日常的に目に入る場所に貼られるため、継続的にメッセージが届く。
- ・チラシやリーフレットより、「とりあえず貼っておこう」と考えてもらえるため保存性が高い。
- ・毎日見るため、意識づけにつながりやすい。
- ・実用的である。

■ デメリット

- ・単価が高い(特にフルカラー・大判・強カマグネットなど)。
- ・使用される場所が限定される。
- ・情報が更新されにくい。内容を変更したいときには再制作が必要になる。
- ・大量在庫を抱えると、厚み・重みもあり管理がたいへん。
- ・ただのノベルティ化する懸念。

エアコンの購入・設置、修理等への補助[例]

行政の視点から

対象や条件はすべて自治体によって異なるが、概ね

- ○歳以上の単身者、○歳以上のみの世帯、子育て世帯、障がい者世帯、生活保護世帯、自治体に**住民登録があること**、**市町村民税の滞納がないこと**、反社会的勢力ではないこと など
※条件を厳しく設定し過ぎると、申請件数に伸び悩むケースもある。
- 現在居住している住宅に**エアコンが1台もない**、**使用できるエアコンが1台もない**。
「買替え」は対象外。
高齢者の居室、寝室が対象。こどもや孫の居室や客間は対象外。
自治体職員による事前の**現地確認**が行われることもある。
- **省エネ性能の高い新品のエアコン購入と設置**(本体購入費+標準工事費)にかかる費用、**修理費用**
 - ・ 「**新品**」が対象。「中古」や「webサイトからの購入」は対象外とされるケースが多い。
 - ・ 「購入・設置」への補助を行っている自治体は多いが、「修理」を補助するところは多くない。
 - ・ その一方で「**撤去・処分**」まで補助を行う自治体もある。
- 上限を5~10万円の範囲として、実費分を補助しているケースが多い。
- 同一自治体内にある事業者、指定店舗からの購入が必須としているケースが多い。
必須でない場合にも、同一自治体内にある事業者からの購入のほうが補助率が高い。
- 2台までOKとしている自治体もある。

エアコンの購入・設置、修理等への補助[例]

住民の視点から

制度の調査

制度は自治体によって異なるため、まずは制度の有無や募集期間、条件などについて調べる必要がある。先着順で予算を使い切った段階で募集を締め切ることが多い。

エアコンの選定

[例]
「**統一省エネラベルで3つ星以上**」「**省エネ基準達成率●%以上**」といった性能面の基準だけでなく、メーカー、機種や型番にも注意が必要。

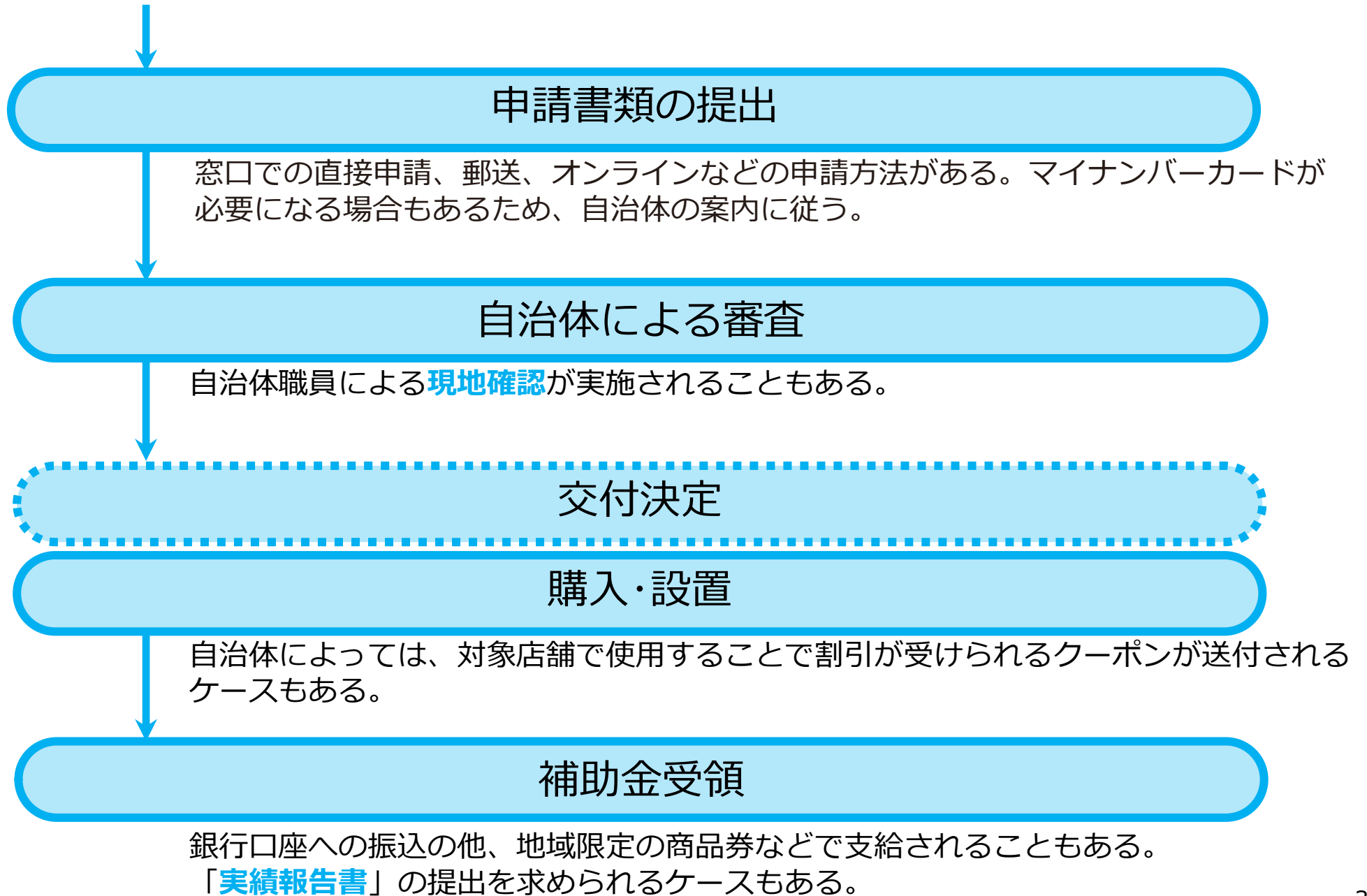
同一自治体内にある事業者、指定店舗からの購入が必須かどうかも確認が必要。

申請書類の準備

申請にあたって必要となる書類は何か？

[例]
エアコン購入時の「**領収書**」、製品の性能、型番が記載された「**カタログ**」「**仕様書**」、メーカー「**保証書**」の写し、**設置写真**などが必須になっているケースが多い。
所得証明書、所有者承諾書(賃貸住宅に居住している場合)などを求められるケースもある。

エアコンの購入・設置、修理等への補助[例]





CHAPTER

4

普及啓発、広報

要配慮者への見守り・声かけ

行動変容のためのインセンティブ

👉 クーリングシェルターと涼み処

都市環境・施設整備による対策

庁内連携

クーリングシェルターと涼み処

●クーリングシェルターと涼み処(など)の比較

	クーリングシェルター	“涼み処”、“お休み処” “熱中症一時休憩所”等
位置づけ	気候変動適応法に基づく「 指定暑熱避難施設 」。	法的に指定されたものではなく、自治体が独自に設置する休憩施設。
条件	熱中症特別警戒アラート 発表時に開放義務がある。	アラートの発表有無に関係なく利用可能(常時または夏季期間)。開放義務はない。
目的	危険な暑さからの避難を、確実に提供するため。	外出時等に気軽に涼める場所を提供するため。
施設要件	冷房設備など一定の基準が必要(最低限の要件あり)。	特に法的な施設要件なし。
運用期間	アラート発表期間中を基本として自治体により異なる。	夏季など暑い期間を基本として自治体により異なる。

- ☞ クーリングシェルターは、“**法的にも指定された暑さからの避難所**”
涼み処(など)は、“**アラートに関係なく、普段から使える涼みスポット**”
自宅等で冷房を使える環境であれば、これらへの移動は必須ではない。

クーリングシェルターと涼み処

- 熱中症の予防・対策に大きな効果を発揮するクーリングシェルターや涼み処の運営には、下記のような特徴がある。

メリット

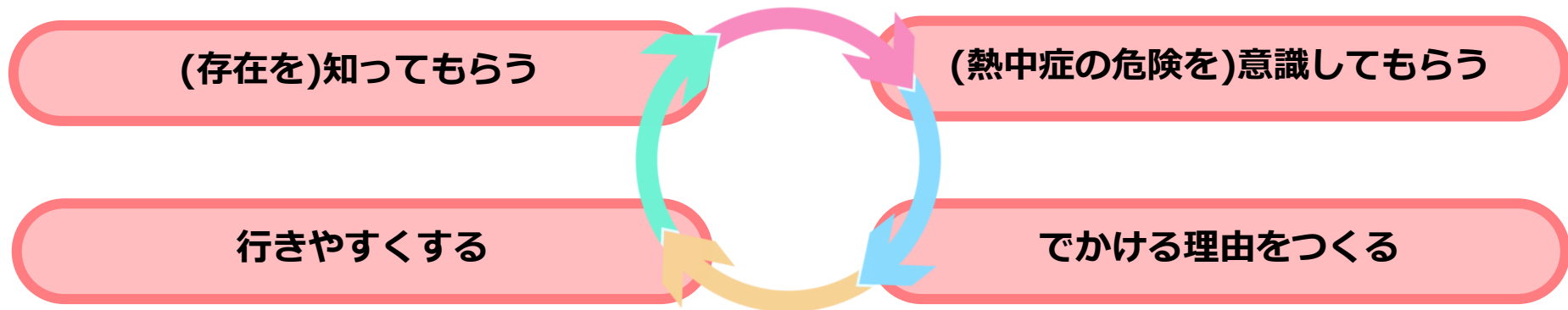
- ・ 熱中症の予防・重症化防止に直結する。冷房の効いた空間に確実に避難できる場所を提供できる。
- ・ エアコンの購入費用や電気代の補助と異なり、緊急的な対策としての実効性が高い。
- ・ 既存の施設、設備を活用しやすい。公共施設だけでなく民間施設の協力を得ることができれば、面的にも展開が可能である。
- ・ 法施行から2年が経過し、浸透・定着しつつある。

デメリット

- ・ 利用できるひとが、近所の住民やたまたま近くに来た来訪者などに限られる。
→ 自宅内で熱中症になるひとを完全には防げない。
- ・ 立地の偏り、格差がある。
- ・ 長時間の滞在、混雑への対応が必要となることがある。本来業務に支障が出るようなケースも起こりうる。
- ・ 人件費(見守り、案内など)や電気代など、追加的なコストが発生する。
- ・ 周知が十分でない場合、ただ「存在するだけ」に陥る可能性がある。

クーリングシェルターと涼み処

- 対面での声かけ
- 電話
- 広報紙(誌)
- 回覧板、掲示板
- 病院、薬局等のポスター、チラシ、パンフレット



- “避難”ではなく、“休憩”、“交流” ← 少人数スペース・個別席
- ひとりで行くのが不安 ← 家族、友人・知人と来てもらう、イベントの企画
- 「遠い」「暑いのに歩きたくない」の対策
← (徒歩圏になれば) 何らかの移動手段の確保、小規模の拠点設置
買い物、通院 や **散歩** といった生活動線上「延長」「ついで」
- 「迷惑をかけるのでは？」
← どなたでも、自由に、気軽に、入りやすく、「休んでいきませんか？」

クーリングシェルターと涼み処

『(存在を)知ってもらう』



熱中症対策で暑い季節を乗り切ろう!

熱中症は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節がうまくできなくなり、体内に熱がこもってしまう状態です。室内でも熱くないときでも発症することがあります。

☎ 情報ホットライン 094-0328



詳しくはこちら

熱中症予防のために

水分補給をする

屋外でも、室内でも、のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分や塩分を補給しましょう。



暑さを避ける

- エアコン等で室温をこまめに調節する
- 保冷剤、冷たいタオル、冷感グッズなどで、からだを冷やす
- 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣類を着用する
- 外出時には日傘や帽子を着用する
- 遮光カーテンや打ち水を利用する
- 天気の良い日は白昼を利用し、こまめに休憩する
- クーリングシェルターを利用する

クーリングシェルターとは…

クーリングシェルターは、重症者から「熱中症特別警戒アラート」が発令された場合に、だれもが利用できる暑さをしのぐための施設です（開放日時は各施設の開催・営業時間、休館日・定休日によって異なります）。今年度は、市内に15ヶ所のクーリングシェルターを設置します。ぜひご利用ください。

※熱中症特別警戒アラートの発令基準は、熱中症特別警戒アラート発令基準（熱中症特別警戒アラート）に基づき、当日の気象情報（WAGI）が25℃以上あることが発表される場合。



☑ クーリングシェルター

熱中症の症状

<ul style="list-style-type: none"> めまい たちくらみ 生あくび 大量の発汗 筋肉痛 筋肉のこむら返り 	→	<ul style="list-style-type: none"> 頭痛 嘔吐 倦怠感 判断力の低下 集中力の低下 虚脱感
--	---	--

応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう。

熱中症が疑われる人を見かけたら（応急処置）

水分・塩分（経口補水液など）を補給。

エアコンが効いた室内や風通しのよい日陰など涼しい場所に避難。衣服をゆるめ、身体を冷やす。

自力で水が飲めない場合や、応急がつかない場合は、ためらわず救急車を呼びましょう。



【開成町】



指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER

みよし市 クーリングシェルターMAP

- 1 市役所庁舎
- 2 カリヨンハウス
- 3 市民活動センター
- 4 歴史民俗資料館
- 5 図書館学習交流プラザ サンライズ
- 6 三好公園総合体育館
- 7 おかよし交流センター
- 8 緑と花のセンター さんさんの郷
- 9 みよし市勤労文化会館 (カネコンプレイス)
- 10 明知下児童館
- 11 明知上児童館
- 12 蒔生児童館
- 13 高嶺児童館
- 14 三好下児童館
- 15 三好上児童館
- 16 新屋児童館
- 17 西一色児童館
- 18 打越児童館
- 19 東山児童館
- 20 福谷児童館
- 21 福田児童館
- 22 蜂ヶ池児童館
- 23 子育て総合支援センター
- 24 イオン三好 ショッピングセンター
- 25 三好郵便局
- 26 三好ヶ丘郵便局
- 27 みよし蒔生郵便局
- 28 薬局森のくすりやさん
- 29 ジェームス三好店
- 30 おざわ薬局
- 31 ウェルシア薬局みよし蜂ヶ池店
- 32 かねこ接骨院
- 33 新明工業 センター高岡



みよし市 クーリングシェルターHP 

（一財）日本気象協会 「熱中症ゼロへ」HP 

みよし市の熱中症情報もLINEでお届け！ 

暑さは災害です。
がまんせず熱中症対策を。

クーリングシェルターと涼み処

[例]

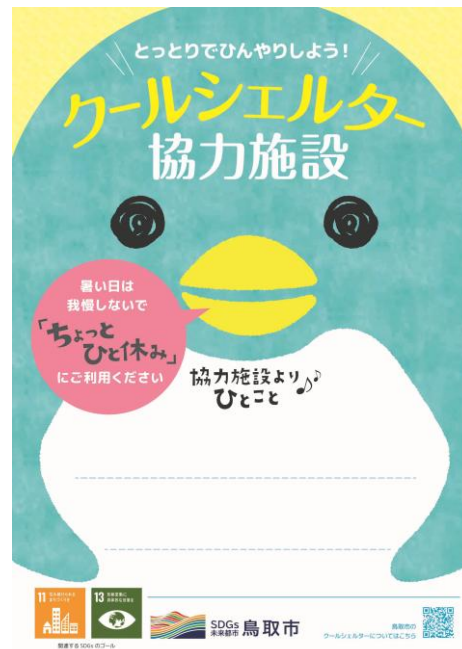
- ・ポスターやのぼり



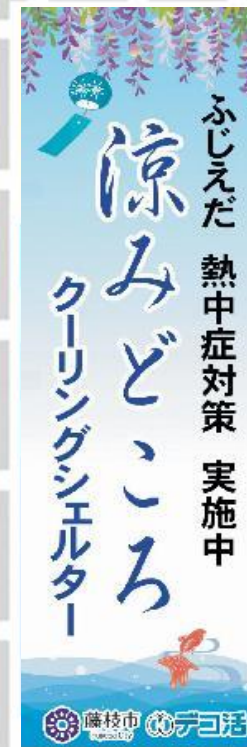
【熊谷市】



【静岡市】



【鳥取市】



【藤枝市】



【墨田区】

参考リンク

環境省：熱中症予防情報サイト 指針、手引き、クーリングシェルター・マーク等

クーリングシェルター・マーク https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict01_50x50mm_300dpi.jpg

ロゴマーク https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_logo_1280px_300dpi.jpg

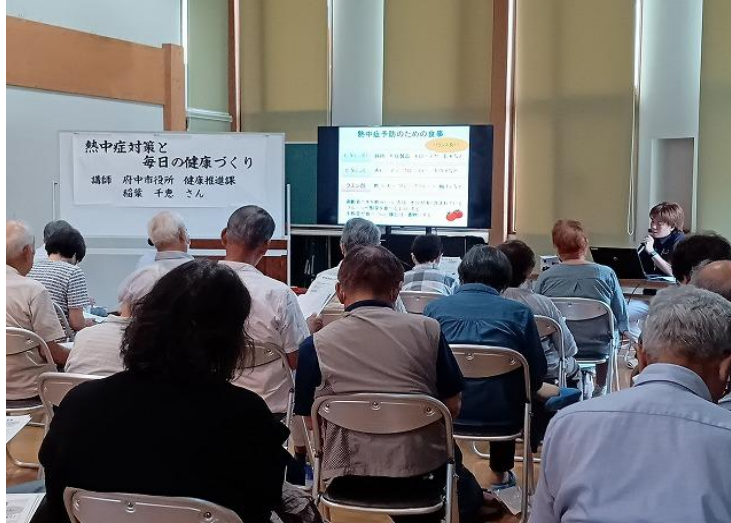
クーリングシェルター・マークマニュアル https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240308_doc06.pdf

クーリングシェルターと涼み処

『(熱中症の危険を)意識してもらう』



【開成町】



【府中市】

高齢者がよく利用される施設では、高齢者の方が使いやすい熱中症対策啓発物品(ネッククーラー、帽子、日傘、うちわ等)を展示し、実際に手にとってもらうなど、工夫を凝らした取組を実施した。

あわせて、高齢者向けリーフレットの配布も行った。



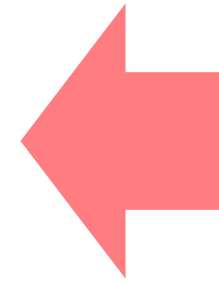
【金沢市】

『行きやすくする／でかける理由をつくる』

[例]

- 高齢者サロン
- 介護予防教室
介護相談会、介護者サロン
- 健康相談、体操教室
- 血圧などの健康測定、フレイルチェック
- 認知症カフェ
- 認知症サポーター養成講座
- メイクアップ、スキンケア講座
- 料理教室、趣味の会
- パソコン講座、スマホ講座
- ボランティア活動、自治会活動
- その他会議、会合など

薬剤師、看護師、保健師といった存在が特に高齢者にとっては安心感につながる。



高齢者が外出する
“動機づけ”になる



▲百歳体操[例]

クーリングシェルターと涼み処



夏休み期間中、小学生の利用が多くなるため小学生の自由研究に役立つような熱中症に関するクイズなど、楽しく学べる工夫を凝らした。

あわせてこども向けの書籍の紹介や、リーフレットを配布するなどし、注意を呼びかけた【金沢市】。



クーリングシェルターと涼み処

[例]

- 助産師、保健師による育児相談会、子育てサロン
 - 離乳食・栄養相談会
- 保護者の関心が高い
- 親子で参加できるミニイベント
 - ・ 楽しむ絵本読み聞かせ
 - ・ 手遊び・リズム遊び
 - ・ ミニ工作(うちわ作り、風鈴作りなど)
- 子どもが遊んでいる間に保護者が涼しい場所で休める
- ミニ縁日(ヨーヨー釣り、輪投げ)
 - かき氷
 - (屋外スペースがあれば)水遊びコーナー
- “涼みに行く理由”をつくる
- 広い店舗では、他の企画とコラボしてウォーキングイベントやスタンプラリーの開催
 - フォトスポットの設置、SNS投稿キャンペーンの開催

静岡県富士市 コインランドリー「Orange Heart Laundry 松岡店」の指定

- 大東建託グループの(株)ガスパルが運営するOrange Heart Laundry(オレンジハートランドリー)は、地域に密着した店舗運営を目指し「安心感」を意味する「オレンジハート」をブランド名に。
- 「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業として、豊かな社会の実現に貢献するというミッションのもと地域に密着した企業活動を推進。安心なまちづくりへ貢献したいという思いから協定締結に至る。



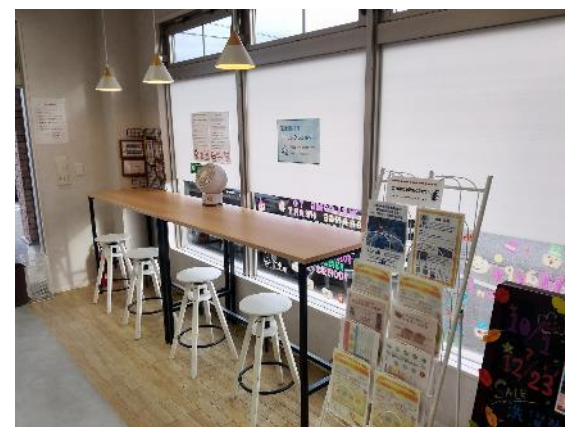
▲松岡店(外観)

毎日午前5時～25時(午前1時)と、長時間開放できることが特徴である(※臨時休業あり)。

Orange Heart Laundry ホームページ <https://www.gas-pal.com/laundry/>

■ 苦労した点

- ・どのような手続きが必要であるのかがわからず、行政との調整に時間を要した。



▲松岡店(店内) 受入可能人数は4名。通常は休憩スペースとして活用されている。

クーリングシェルターの表示▶
(入口、店内)



■ 工夫した点

- ・基本的に無人運営のコインランドリーにおいては、複数の防犯カメラを備え、設備の状況はクラウド上で遠隔管理している。また、他店舗ではあるが、災害時のガス炊飯や電源が確保できる「災害時対応型コインランドリー」として店舗設計をしているところもあり、地域や社会への貢献を常に意識するように心がけている。

和歌山県御坊市 社会福祉協議会「TUNAGARUカフェ」の指定

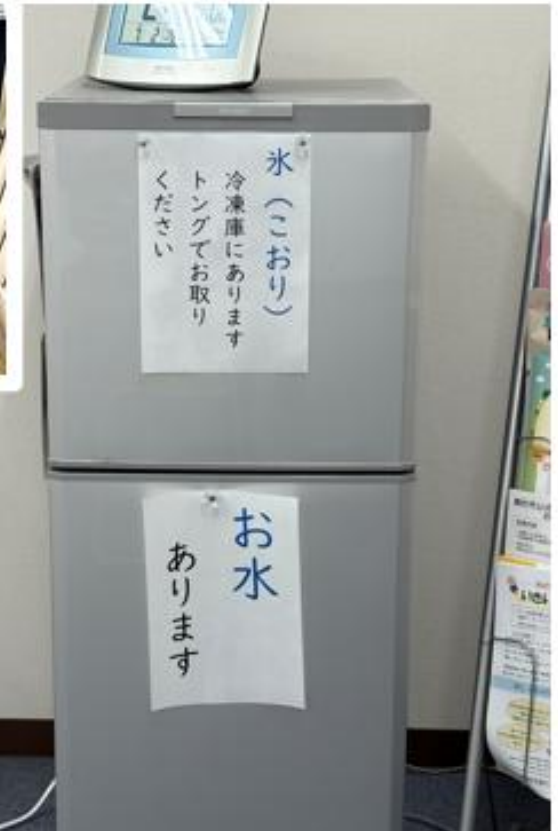
- 御坊市社会福祉協議会が、市民の交流の場として開設している「TUNAGARUカフェ」を指定
- 飲み物や氷を常備した冷蔵庫を設置
- 飲み物の利用状況から利用者数を推計。令和6年度の利用者は1,119名



▲TUNAGARUカフェ



▼ドリンクコーナー



御坊市社会福祉協議会ホームページ <http://www.gobo-shakyo.jp/>

■工夫した点

- ・ 御坊市社会福祉協議会が運営する御坊市民大学「はまぼう学園」に高齢者の多くが参加しており、講義やクラブ活動終了後に、TUNAGARUカフェに立ち寄って帰宅する流れがあった。また、夏休み期間中は小学生を対象とした宿題カフェやイベントを開催している。
- ・ 自治連合会を通じて、全戸に施設の紹介チラシを配布

石川県川北町 株式会社PLANT「スーパーセンター川北店」の指定

- 以前から熱中症対策に取り組んでいたが、**労働安全衛生規則の改正**もあり、熱中症救急セット、緊急避難場所の配備、バックヤード・キッチン等の熱源の付近・屋外にWBGT測定器を設置、屋外作業従事者のアイスベスト着用の義務化や熱中症に係るマニュアル・連絡先の作成など**熱中症対策を全23店舗で強化**。
- 従業員だけでなく、お客様の熱中症対策にも注力している。
- 「**生活のよりどころとなる店**」という**企業理念に基づき**、店舗のクーリングシェルター指定を拡大。全23店舗の指定を目指し、**各自治体への申請・働きかけを積極的に進めている**。

一般スペース



▲クーリングシェルター指定区画
無料の給茶機を設置。他にも店舗内のPLANT直営の飲食ショップ等がクーリングシェルター区画に含まれている。

職場



▲バックヤードのWBGT測定器
キッチン等の熱源の付近や屋外にも設置している。作業制限等の基準になっている。



▲熱中症救急セット
バックヤードの冷蔵庫内に保管。熱中症が疑われる場合には、お客様にも提供が可能。他にも塩タブレットなどを準備している。



▲緊急避難場所
バックヤードの冷房の効いた部屋の中に折り畳み式ベッド等の横になることのできるスペースを確保。

■工夫した点

・クーリングシェルターの指定は総務部、従業員の熱中症対策は人事部、現場の熱中症対策は各店舗がそれぞれ担当しており、部署間の連携が、徹底した熱中症の備えに寄与している。



CHAPTER

5

普及啓発、広報

要配慮者への見守り・声かけ

行動変容のためのインセンティブ

クーリングシェルターと涼み処



都市環境・施設整備による対策

庁内連携

都市環境・施設整備による対策

- 熱中症の予防・対策には、普及啓発、広報や見守り・声かけといった取組以外にも、例えば都市環境・施設整備といった**ハード対策**もある。

メリット

- ・ 物理的に暑さを軽減でき、誰にでも効果がある。
- ・ 長期的に持続する(**ヒートアイランド**対策にも寄与する)。
- ・ ひとの行動に依存しないため、確実性が高い。

デメリット

- ・ 初期投資・維持費が高い。
- ・ 効果が現れるまでに時間がかかる。
- ・ 設置場所にしか効果がない(効果に偏りが生じる)。

参考リンク

環境省：熱中症予防情報サイト 普及啓発資料 > 普及啓発資料のダウンロード >
「**まちなかの暑さ対策ガイドライン 令和4年度部分改訂版**」

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/city_gline/city_guideline_full.pdf

都市環境・施設整備による対策

[屋外の例]

- すだれ
- 緑のカーテン
(壁面等の緑化)
- 街路樹・藤棚等による緑陰



▲ゴーヤ苗の配布



都市環境・施設整備による対策

[屋外の例]

- 日除け



- ミストシャワー

駅前、アーケード、建物入口など。送風ファンと組み合わせるケースも。



「まちなかの暑さ対策ガイドライン 令和4年度部分改訂版」

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/city_gline/city_guideline_full.pdf

都市環境・施設整備による対策

[屋外の例]

- 窓面等の**再帰反射化** ☞ フィルムなど
- 地表面等の**保水化・遮熱化** ☞ 舗装、塗装など
- 地表面等の**緑化** ☞ 公園広場、学校校庭の芝生化、駐車場の芝生化(グラスパーキング) 路面電車軌道敷の緑化、屋上庭園など
- 屋上、壁面等の**緑化** ☞ 緑のカーテン、樹木・藤棚等による緑陰など
- 屋上、壁面等の保水化・**親水化** ☞ 冷却ルーバーなど
- 微細ミスト ● 送風ファン ● **冷却ベンチ**
- **人工排熱低減** ☞ 省エネ機器導入、公共交通の利用促進
- 噴水、水盤や水辺の活用 ● 打ち水
- 風の通り道確保
- 歩行者動線の検討



都市環境・施設整備による対策

[屋内の例]

- 冷房設備
- スポットクーラー(特に小・中学校体育館など)



- 扇風機、サーキュレーター…単独では根本的な対策にはならない
(エアコンとの組み合わせで効果を発揮)
- 冷蔵庫
- 冷凍庫
- 温度計、湿度計
- WBGT計



北海道札幌市 地下歩行空間(愛称:チ・カ・ホ)のクーリングシェルターへの指定

- 2024年7月に、**札幌駅前通地下歩行空間(愛称:チ・カ・ホ)**をクーリングシェルターとして指定。チ・カ・ホ全体がクーリングシェルターとして指定されている区画であり、道なりに椅子が設置されている。
- チ・カ・ホは2011年3月に開通した札幌駅周辺地区と大通駅周辺地区とをつなぐ地下通路であり、都心商業圏の回遊性を高め、四季を通じた安全・快適な歩行空間として親しまれている。
- 空調は2011年の開通時から備わっており、2018年9月の北海道胆振東部地震の経験を踏まえ**非常用発電機**の整備も進められてきた。



▲札幌駅側から見たチ・カ・ホの風景



▲チ・カ・ホ内に設置されている椅子

□ 地下広場について <https://www.sapporo-chikamichi.jp/about/>

□ 札幌駅前通地下歩行空間の整備効果 <https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/stn/genzainojigyo/ekimaechika/seibikoka.html>

■ 苦労した点

・チ・カ・ホは、市道と国道にまたがる地下歩道とその両側に設置された広場空間からなる施設であるため、クーリングシェルターの指定にあたって、指導と広場を所管する札幌市役所の部署(道路維持課、都心まちづくり課)との調整、国道を所管する国土交通省北海道開発局との協定締結、施設管理者(民間企業)との調整が必要になる等、時間を要した。

■ 工夫した点

・令和7年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業の採択事業の一環として作成した熱中症予防行動の啓発動画及びクーリングシェルターの普及啓発動画を、チ・カ・ホの広場空間に設置されているサイネージを含めた近隣数か所の街頭ビジョンにて2025年7～8月の期間で放送し、熱中症対策の市民意識向上を図った。

愛知県蟹江町 小学校への冷凍庫導入

- 蟹江町では、保護者からの声を受け登下校時の熱中症対策に注力。中には通学時間が30分を超える児童も。
- 令和6年7月に、町内2つの小学校に対し1学年につき1台、試験的に冷凍庫を導入。
児童、保護者や学校関係者から好評だったため**令和7年度にすべての小学校に導入。**
- 児童は冷却グッズを身につけて登校し、始業前に冷凍庫へ。終業後、再度身につけて下校する。
- なお、令和7年9月以降、町民の御寄付により町内すべての中学校にも冷凍庫を導入予定



▲新蟹江小学校に設置された冷凍庫
学年ごとに1台設置されている。



▲内部は4段に仕切られており、クラスごとに分けて保管。
冷凍庫への出し入れ、冷却グッズの数の確認は教員が行う。
※ネックリングはイメージです。

■実施期間
6月1日～10月31日まで
※冬季、夏休み期間等は
電源OFF。

【冷凍庫の大きさ】
高さ：104 cm
幅：51.9 cm
奥行：60 cm
容量：108～110 ℓ

保護者への周知

熱中症対策における冷凍庫の利用について

若葉の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動のために格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、昨年度より登下校時の熱中症対策として「冷凍庫」が設置されました。登校時に使用した背あてパッドやネッククーラー等の冷却材を下校時にも使用できるよう活用していきます。つきましては、「冷凍庫」を利用するにあたり、保護者の皆様には下記の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

記

- 運用期間
6月1日から10月31日まで
- 学校における取り扱い
 - ・ 1、2、5、6年、ふれあい学級は中館1階に、3、4年は北館1階に冷凍庫が設置されています。学年の表示がされていますので自分の学年の冷凍庫を使用してください。
 - ・ 下校まで冷凍庫の扉は開け閉めはしません。日中、使用する冷却タオル等は、冷凍庫へ入れないようにしてください。
 - ・ 背あてパッドやネッククーラー等、冷やしたいものがある場合は、朝学校に登校したら自分で冷凍庫に入れてください。
 - ・ 濡らしたタオル、背あてパッド等は、朝学校に登校したら自分で冷凍庫に入れてください。
 - ・ 濡れている場合は袋に入れて、きちんと拭いたりして冷凍庫に入れてください。
- お願い
 - ・ 背あてパッドやネッククーラー等の冷却材には、必ず記名をしてください。
 - ・ 背あてパッドを使用する場合は自分で取り外しができるようにご家庭で練習しておいてください。
- その他
背あてパッドやネッククーラー等は、ご家庭で相談の上、必要に応じて使用してください。

蟹江町立須西小学校 (連絡先 蟹江町立須西小学校 教頭 9)

<https://sunishi-e.kanie-schoolnet.jp/?p=6420>

■苦勞した点

- ・ 濡れている場合は袋に入れたり、拭いてもらうようにした。冷凍庫を設置する場所の確保が課題であったが、児童が触れない場所に設置する必要があることから、普段教室として利用しない部屋(特別教室など)を使用した。

令和7年度ヒアリング

■工夫した点

- ・ 冷却グッズが入る大きさのジップロック等(要記名)をご用意いただいた。冷却グッズの種類は各家庭の判断で持参。ネッククーラー(リング)、濡らしたタオル、背あてパッド等。地震発生時の防災対策として、冷蔵庫の下に耐震マットを設置した。



CHAPTER

6

普及啓発、広報

要配慮者への見守り・声かけ

行動変容のためのインセンティブ

クーリングシェルターと涼み処

都市環境・施設整備による対策

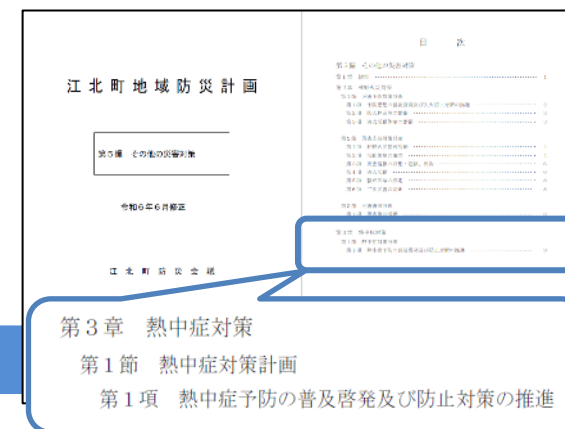


庁内連携

佐賀県江北町 「江北町地域防災計画」

- 熱中症を災害の一部として捉え、『江北町地域防災計画』の第5編「その他の災害対策」にて、熱中症警戒アラート発生時における体制や動き等について定めている。

- 「災害対策連絡室」：佐賀県に熱中症警戒アラートが発表された場合 総務政策課安全安心係に設置。室長は総務政策課長。
- 「災害対策本部」：佐賀県に熱中症特別警戒アラートが発表された場合 庁舎2階に設置。本部長は町長、副本部長は副町長、議長、団長。



所属課	所属係	所掌事務
総務政策課	安全安心係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配備職員の登庁要請 ・ 災害対策連絡室/災害対策本部の運営 ・ 指定暑熱避難施設との連絡調整 ←[例]区長(自治会長)への連絡など ・ 被害状況の取りまとめ
	企画情報係 財政係	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、フェイスブックによる情報発信 ・ 防災無線による災害情報発信 ←[例]音源の登録、設定など ・ 広報車両による広報
健康福祉課	介護保険係 福祉係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員との連絡調整 ・ 避難行動要支援者(高齢者、要介護者)の援護措置
基盤整備課	土木係 耕地係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理施設の巡回 ←[例]公園など
こども教育課	学校教育係 生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育施設等との連絡調整 ・ 社会体育施設等との連絡調整 ←[例]野球場、ソフトボール場、テニスコート、弓道場など

▲災害対策連絡室と災害対策本部設置時の担当部局と所掌事務

神奈川県開成町 小さい町だからこそできる町ぐるみの熱中症対策の取組

- 複数部署による連携のさきがけとして、主として3課(保険健康課、福祉介護課、環境課)の協力により、当町の課題である高齢者向け周知を主眼とした取組を実施した。
- クーリングシェルター周知を目的として、熱中症対策講座を開講。
こども向け健診の機会を捉えて開講したことをきっかけに、こども向けの健康づくりを担当する、**こども課**保健師との連携が生まれ、**町保健師全員が一丸となって熱中症対策に取り組む体制が構築された。**

保険健康課

- クーリングシェルターの指定
- 保健師による熱中症講座

福祉介護課

- 民生委員・児童委員との連携
☞ 見守りによる普及啓発
- 保健師による熱中症講座

こども課

- 保健師による熱中症講座

環境課

- モニターによる普及啓発
- モデル事業とりまとめ



◀クーリングシェルターでの熱中症対策講座

- 認知向上や利用促進につながる
- 職員向けの講座や救急対応物品の備えつけにより、熱中症患者の受入体制を整えた



◀モニターによる普及啓発

- 危険度が伝わりやすい
- WBGTデータの収集も可能

■工夫した点・苦労した点

小さな町だからこそ、日ごろから職員と民生委員・児童委員や事業者との密接な関係性が構築されており、依頼や連携が円滑に進められた。また、庁内の連携もスムーズに行うことができた。

庁内連携

- 熱中症の予防・対策はさまざまな部局間にまたがるために、それがうまくいくかどうかは、自治体内部の連携がカギになる。ただし、実務では、いくつかの典型的な「壁」が存在する。

起こり得る困難

① 部局間の縦割り

- ・ 各部局はそれぞれの目標、KPIや予算で動いており、情報共有や共通のテーマをもった施策を講じるのが難しい
- ・ 「うちの課じゃない」という意識が先行し、全体調整役が不在になりやすい。

克服のためのアイデア

- ・ 首長・副市長をはじめとする**トップダウン**による、部局間**横断・連携プロジェクト**として運営する。
[例] 今年の夏に向けた庁内横断対策を検討したい」と首長・副市長から各部局に一声かけてもらうだけで、各部局の反応は劇的に変わる。
[例] 施政方針、首長からのメッセージや議会質問等を活用する。
- ・ **共通の目標、KPI**を設定する。
[例] 消防、教育、保健・健康・福祉などの部局からデータを集める。その上で「昨年、市内で〇〇人が搬送された。そのうち△%が65歳以上の高齢者、□%が小中学生」というかたちで**部局別に「自分ごと化」できるデータ**を示す。
[例] 熱中症による死亡者数、救急搬送者数といった数字を1枚にまとめ“本市の現状”を庁内に共有する。
- ・ 各部局(長)に「**自分の施策として語れる成果**」を明確にし協力してもらう。お互いが得をする仕組み。

起こり得る困難

②データの分断・共有不足

- ・さまざまな情報がバラバラに管理されており、どの部局に、どんな情報があるのかわからない

③責任の所在が曖昧

- ・どの課の仕事か？が曖昧で対応が遅れてしまう。
- ・「うちの課じゃない」という意識が先行し、全体調整役が不在になりやすい。

克服のためのアイデア

- ・ **共通の目標、KPI**を設定する。(※上述)
- ・ 共通ダッシュボードを構築する。
- ・ 目的を限定した、個人情報共有ルールを整備する。
法令の範囲を正確に確認する。個人情報保護法や各自治体の条例では、「本人の生命・身体・財産の保護のために必要な場合」は第三者提供が認められるケースがある。
個人情報保護担当課と事前に協議し、利用可能な範囲を文書化するなどして対応する。
- ・ **役割分担表**を作成する。
- ・ 緊急時の意思決定フロー作成とそのテスト(訓練)を実施する。
- ・ “受益者が誰か？”を軸として主担当がどの部局になるかを整理する。

起こり得る困難

④現場レベルの負担増、モチベーション低下

- ・『また仕事が増えた』という認識になりがち

⑤通常時・非常時(緊急時)の役割分担

- ・通常時の連携が形骸化し、非常時(緊急時)に急に動こうとしても機能しない

⑥外部機関との連携不足

- ・社会福祉協議会、地域包括支援センター、医療機関や民間企業等との連携が弱い

克服のためのアイデア

- ・各部署に新たな業務を大量に追加しない。「既存の業務の延長として位置づけられるか」を確認して、**できる限り現行の仕組み**に乗せる。

- ・各部署(長)に「自分の施策として語れる成果」を明確にし協力してもらおう。お互いが得をする仕組みを目指す。

(※上述)

- ・既存の(熱中症以外の)連携を活用する。

- ・業務削減とセットで取り組む。

- ・警戒レベルなどの段階ごとの対応を検討する。

- ・**定期的なテスト(訓練)、シミュレーション**を行う。

- ・民間事業者等と各種協定を締結する。

- ・民間のデータ、技術を導入する。

庁内連携

●[例] タイムライン

気象庁の「**2週間気温予報**」(<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweeek/>) や、「**早期天候情報**」(https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/?reg_no=0&elem=temp) から、1~2週間先の予想ができる。

また、特別警戒アラートが発表される際に、クーリングシェルターの開設や住民への広報その他初動対応を迅速に行えるよう、関係する各部署を巻き込んだタイムラインを作成し始めている自治体もある。

熱中症特別警戒情報発表前後における熱中症要支援者対応に係るシナリオ・タイムライン

シナリオ		タイムライン							
		国	都道府県	市区町村					
基準日との差異	気象状況等 (自治体の動きに影響を与えるもの)			環境部局	健康・保健・福祉部局	防災・危機管理部局	消防本部・消防署	教育委員会	総務・企画・広報部局

庁内連携

● [例] 会議体

会議体	参加者	頻度	目的
熱中症対策本部	副市長・関係部局長	年2回(春・秋) ※秋は課題と成果をまとめ、翌年につなぐことが重要。	方針決定・予算・評価
幹事課長会議	関係課室長・幹事部局	月1回(夏季は頻回)	情報共有・課題調整
実務担当者WG	各課担当者	必要に応じて随時	現場調整・データ整理
緊急対応連絡会	関係担当者	・熱中症警戒アラートが連続 ○日間発表 ・熱中症特別警戒アラートが発表される可能性が高いとき	即時対応・情報連絡

- 決定事項は必ず文書化し、例えば翌週末までに全参加者に配布する。「会議での決定事項」を曖昧にしない。
- 会議の議事録ではなく「アクションリスト」をつくる。「誰が・何を・いつまでに」を明確にして次回会議の冒頭で進捗確認する。
- 特に夏季(例えば6～9月)は連絡体制を強化する。場合によっては週単位での進捗を共有(メール含む)するなどして、関係者間で新しい情報を共有する。

本日のまとめ

- 「テーマ」で束ねる：
 - まずはゼロ ないし 小さな予算 から、また、できることから スモールスタートしてみる。
 - ひとつの部局だけでなく、関係する部局をまきこむ
 - “組み合わせ”によって、熱中症予防・対策のターゲットや、取組内容・規模はさまざまに変わる。
- 「しくみ」で回す：
 - 普及啓発や広報ははじめの一步。次の一步も考える。
 - 会議体を設ければ動くわけではない。
 - 「夏だけ、翌年また一からやり直し」にならないように。
(ひとが変わっても機能する「しくみ」を)

ご清聴ありがとうございました！

